

第48回

# ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



図画1部  
山形県知事賞

「たうえのひ」

尾花沢市立宮沢小学校1年  
かとう りょうた  
加藤 亮太 さん

図画3部  
山形県知事賞

「おいしいお米 おいしいおむすび」

米沢市立第二中学校2年  
かとう こうしろう  
加藤 晃士郎 さん



令和6年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部

作文3部  
全国農業協同組合  
中央会会長賞

「お米とわたし」  
米沢市立第四中学校1年  
くろさわ けん と  
黒澤 堅仁 さん

お米とわたし  
米沢市立第四中学校 一年 黒澤 堅仁  
僕は二の二七年から五年園圃山梨の北麓に  
位置する久米南町で、北庄中央棚田天然米生  
産組合の一員として、米づくりに携わりまし  
た。北庄中央棚田天然米生産組合とは先人が  
ら継承されてきた美しい棚田を生かし、棚  
田天然米生産家の維持、育成を目指すとして  
合です。僕はその棚田守り隊として活動し  
ました。

棚田は一般的に標高が高く、水のきれ  
水源が近くあり、昼夜の寒暖差が大き  
ことからおいしいお米の生産が可能です。お  
いまず、初めて棚田を見た時、その景観の  
晴らしさに感動し、心がいやされたことを  
覚えています。米を収穫するまでには、一ツ  
の作業がとても大変です。田植え前の田  
で、天くさんの友達と一緒にトラクター  
で、トラクター取り競走ををし、上  
の方に味わえたのはいい経験になりました。

代かきは、苗を植えつけてやすくなるた  
み人など協力して田んぼをまんなぐ  
道具で均します。土が重くて腕が悲鳴を  
ていきました。

田植えは、機械を使わずに手作りで植  
えます。組合の方と一緒に、縦横掘り  
を土の上上手に植えることがなかなか  
なが、大ですが、繰り返し続けられ、田んぼ  
コブを覚え、きれいに植えつけられ、田んぼ  
の風景が気持ちよか。夫です。

夏には、草刈り作業であぜの方にある雑草  
など、細かいところまで、かりと見つけ出  
し、取っていく地道な作業で夏の暑さとの戦  
いでした。作業後に地域の方で、お茶を  
いでした。肉カレで、疲れた一息に癒されて  
きました。

稲刈りでは、昔ながらの道具、かまを稲を  
刈り取ります。刈り、てを刈り、てを稲が残って  
いきす。機械を使って稲刈りをする人  
る。みるみる稲が刈り進み、一瞬で刈り終

えきました。機械は便利、昔の人は汗いと改め  
て感じました。

次に、ハゲガケは、たぐさん刈り取、夫稲を  
天日干しにする作業です。ふと人を干すよう  
な感覚で、せと怖い。あ、という手に至る  
終わることかできる。米を作る作業の中  
では、一番難しい作業です。そして  
て最後は、一粒も死たにしない十割抜きとい  
う道具で、脱穀をします。十割抜きは木の台の  
上から鉄製のくし状の歯が水平に動き出し、夫  
稲を削り、木製の台に付属した足置きを  
踏んで作業を固定し、稲の束を振りかぶって  
夫大きつけ、引いて米を取る道具です。その  
道具は力が必要でしたが、かきれいに米が取れて  
気持ちよか。夫です。

四季を通して、米づくりに、沢山の努力と  
情がそそかれ、一粒一粒の米として、僕達  
単へや、て来ます。

お米を作、夫ことと、農家さんへの感謝  
持ちかとても大きくなり、おいしい一は

食べられるありがたさを、日々感じるように  
なりました。僕の家では、土鍋で米を炊きま  
す。炊けるまでの過程が透明のガラスのふた  
から見えるのが、食欲をそそられ、僕はご飯か  
大勢になり、おかわりしています。おいしい  
ださす。これは、お米を煮る動作から生まれ、  
言葉です。現在ではその歌は、肉や魚、卵  
ほちろろ、野菜や果物を多めで、食材の  
命、そのものに合わせた言葉と捉え直されてい  
ます。「こちそうさま」とは、私たちが生か  
ていくために命をくれた動物や植物、手間を  
かけてくれた人たちに、対しての感謝の気持ち  
を表す言葉です。「いただきます」「ごち  
うさま」は、君たち前に使った、という言葉です  
かし、かりと意味がなくなりました。

だから僕達か大人になつたとき、次の世代の  
子にも、食への感謝の気持ち、食の大切さ  
を伝え、同時に、機械の便利さを教えてい  
たいです。



みんなの  
よい食  
プロジェクト



◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会代表理事会長 折原 敬一 ..... 1

◆第48回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール入賞一覧 ..... 2

◆図画部門

図画1部／全国優秀賞・山形県知事賞  
山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 3

図画2部／山形県知事賞  
山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 4

図画3部／全国優秀賞・山形県知事賞  
山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 5

◆作文部門

全国農業協同組合中央会会長賞 ..... 6

作文1部／山形県知事賞 ..... 8  
山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 9

作文2部／山形県知事賞 ..... 10  
山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 11

作文3部／山形県知事賞 ..... 12  
山形県農業協同組合中央会会長賞 ..... 14

◆審査講評

作文部門審査講評 山形市立第十小学校校長 樋口 潤一 ..... 16

図画部門審査講評 大江町立左沢小学校校長 建部 敦 ..... 17

◆第36回～第48回 入賞一覧 ..... 18

◆審査経過の概要 ..... 20

◆募集要領 ..... 21



ごあいさつ

## 山形県農業協同組合中央会

代表理事会長 折原 敬一

第四八回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さん、とても素晴らしい作品をありがとうございます。心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJAグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた稲作農業、ごはん食と健康の結びつきを見直してもらうため、昭和五二年度からこのコンクールを実施しており、今年度で四八回目を迎えます。

今回は、県内の小・中学校から作文二・三・八・〇〇八・〇〇八点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦するとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。

全国コンクールにおいては、作文部門三部で全国農業協同組合中央会会長賞、図画部門一部と三部で優秀賞を受賞する成績を収めました。これは入賞された皆さんのご努力はもちろんのこと、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、保護者の皆様、審査委員の先生方、そして山形県ならびに各JAのご支援・ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、田植えや収穫作業、ごはんをおいしそうに頬張る様子などをいきいきと表現したものや、ごはんを通じた家族との温かいつながり、お米やふるさとの素晴らしい価値などを豊かに表現したものなど、心に響く作品ばかりでした。ごはん食や農業の果たす役割の大きさ、ありがたさが素直に表現されており、日本人の生活とお米は、深く結びついていると改めて実感させられました。

どうか皆さん、普段何気なくごはんを食べることが出来る幸せを忘れないでください。また、お米をはじめとした農畜産物を作る農家の苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを大切にしてください。そして、自然や生き物

すべての命を大切にすることを、いつまでも持ち続けてください。

現在、日本は、世界中の国々と貿易を行い、食料の多くを外国から輸入しています。皆さんは、私たちが毎日食べている食べ物、どこで作られたものなのか知っていますか。食べ物全体のうち、どのくらい日本国内で作っているかを示す食料自給率は三八％であり、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなることが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことでと考えています。

私たちJAグループは、地元産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大や皆さんの安全な食生活の確保に向けて、日本人の主食である「ごはん」を中心とした日本型食生活の推進、学校給食における安全・安心な農畜産物の提供、「食」と「農」の大切さを伝える食農教育の推進、国民が必要として消費する食料は、できるだけ国内で生産する「国産国産」の国民的理解促進に向けた取り組みに二層努力してまいります。そして、農業者や地域の皆様にとつて「なくてはならないJA」となれるよう、引き続き様々な取り組みを進めてまいりますので、これからもご理解・ご協力をお願いいたします。

さて、本県産「つや姫」は、平成三年のデビュー以来、多くの方々からご好評をいただき、皆さんにとつても馴染みのお米となつたことと思います。「つや姫」に続き、平成三十年にデビューした「雪若丸」も、「元氣な粒に、うまさぎつしり」のキャッチフレーズのとおり、粒立ちがしっかりとおりて、さまざま料理と相性が良いことから、大変ご好評をいただいております。本県では、このほかに、「はえぬぎ」などのおいしいお米をたくさん作っています。私たちは、これからも安全・安心でおいしいお米を皆さんにお届けしてまいりますので、応援をよろしく願っています。

最後に、当コンクールをますます発展させていただきますよう皆様からのご協力をお願い申し上げます、あいさつといたします。

# 第48回「ごはん・お米とわたし」

## 作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

### 全国審査における入賞者

#### ○全国農業協同組合中央会会長賞

(作文 3 部) 黒澤 堅仁 米沢市立第四中学校 1年

#### ○全国優秀賞

(図画 1 部) 加藤 亮太 尾花沢市立宮沢小学校 1年 (図画 3 部) 加藤晃士郎 米沢市立第二中学校 2年

### 山形県審査における入賞者

#### 作文部門

##### ●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	石澤 悠大	山形市立第四小学校	2年
山形県農協中央会会長賞	水野ひかり	鶴岡市立京田小学校	3年
優 秀 賞	東海林叡希	山形大学附属小学校	1年
	丹野 彩輝	村山市立楯岡小学校	3年
	矢作 莉夢	大蔵村立大蔵小学校	3年
	三浦 莉央	鮭川村立鮭川小学校	3年
	渡部 敬太	高島町立和田小学校	3年

##### ●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	加藤 零風	最上町立大堀小学校	6年
山形県農協中央会会長賞	伊藤 学玖	大蔵村立大蔵小学校	6年
優 秀 賞	渡會 寛介	鶴岡市立櫛引西小学校	4年
	平 晨備	村山市立楯岡小学校	5年
	仲田 百杏	高島町立糠野目小学校	5年
	安食 菜夏	戸沢村立戸沢学園初等部	6年
	田村 理音	米沢市立北部小学校	6年

##### ●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	水吉琥太郎	米沢市立第二中学校	1年
山形県農協中央会会長賞	戸田 寛幸	米沢市立第一中学校	1年
優 秀 賞	鈴木 聡真	米沢市立第一中学校	1年
	梅津 琴美	米沢市立第四中学校	1年
	山田 悠斗	米沢市立第四中学校	3年
	紺野 心夢	白鷹町立白鷹中学校	3年
	高橋 羽奏	飯豊町立飯豊中学校	3年

##### ●学校奨励賞

大蔵村立大蔵小学校  
米沢市立第四中学校

#### 図画部門

##### ●1部 (小1～3年)

山形県知事賞	加藤 亮太	尾花沢市立宮沢小学校	1年
山形県農協中央会会長賞	三浦 陽太	尾花沢市立尾花沢小学校	2年
優 秀 賞	石沢 大地	尾花沢市立尾花沢小学校	1年
	伊藤 優汰	南陽市立中川小学校	1年
	鈴木倫太郎	尾花沢市立尾花沢小学校	2年
	小貫 愛華	尾花沢市立玉野小学校	2年
	高橋 丈琉	尾花沢市立玉野小学校	3年

##### ●2部 (小4～6年)

山形県知事賞	遠藤 優馬	米沢市立南原小学校	5年
山形県農協中央会会長賞	遠藤 澄人	鶴岡市立斎小学校	4年
優 秀 賞	秋保 夏鈴	尾花沢市立常盤小学校	4年
	小林 由芽	最上町立向町小学校	4年
	瀬尾優香菜	山形市立第四小学校	5年
	小林 亜門	川西町立小松小学校	5年
	齋藤 和音	鶴岡市立羽黒小学校	5年

##### ●3部 (中1～3年)

山形県知事賞	加藤晃士郎	米沢市立第二中学校	2年
山形県農協中央会会長賞	高橋 桃子	山形市立第五中学校	2年
優 秀 賞	柿崎 翠里	山形市立第六中学校	1年
	川合 海音	山形市立第五中学校	3年
	佐藤 七渚	鶴岡市立櫛引中学校	3年
	佐藤 祐菜	鶴岡市立櫛引中学校	3年
	渡会ひより	鶴岡市立櫛引中学校	3年

##### ●学校奨励賞

尾花沢市立尾花沢小学校  
鶴岡市立櫛引中学校